

# 検査内容変更のお知らせ

ISO15189:2012  
認定取得

平成30年2月

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

eGFR creat (推定糸球体濾過量)につき、日本腎臓学会編「CKD診療ガイド2012」では、CKDの重症度分類について、GFR区分のみではなく、尿中アルブミンもしくは尿蛋白の値とともに併せて判断するよう記載されています。

この度、弊社におきましても学会に準拠し、eGFR creat の基準値設定の変更に伴い、クレアチニン（血清）のご依頼と年齢、性別のご記入がある場合には、eGFR creat 値を併記してご報告させていただきます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

## 記

- 変更期日：平成30年3月1日（木）受付分より下記のとおり変更させていただきます。
- 変更項目および変更内容

コード	検査項目名	変更箇所	変更後	現行
2720	eGFR creat	基準値	設定なし	60mL/min以上

### ■【併記報告について】

クレアチニン（血清）のご依頼と年齢、性別のご記入をいただいた場合には、eGFR creat 値を併記して報告をさせていただきます。

但し、CKD診療ガイド2012に基づき年齢が18歳未満の場合には適用外となるため、「計算不可」と表記してご報告させていただきます。

※裏面の日本腎臓学会編「CKD診療ガイド2012」（一部抜粋）もご覧ください。

### ■ お問い合わせ、ご意見、ご指摘、ご要望先

カスタマーセンター

- |                                              |      |                |
|----------------------------------------------|------|----------------|
| <input type="checkbox"/> 株式会社 大阪血清微生物研究所     | 本社   | (06) 6322-4531 |
|                                              | 奈良支社 | (0744) 24-0530 |
| <input type="checkbox"/> 株式会社 大阪血清田辺臨床検査センター |      | (0739) 22-8740 |
| <input type="checkbox"/> 株式会社 大阪細胞病理研究所      |      | (06) 7634-0360 |

## 1. eGFR creat ( mL/min/1.73m<sup>2</sup> ) の算出式

男性 eGFRcreat = 194 × Cr<sup>-1.094</sup> × 年齢<sup>-0.287</sup>

女性 eGFRcreat = 194 × Cr<sup>-1.094</sup> × 年齢<sup>-0.287</sup> × 0.739

※腎機能の評価は 18 歳以上である

## 2. CKD (慢性腎臓病) の定義

①尿異常、画像診断、血液、病理で腎障害の存在が明らか

特に0.15 g/gCr以上の蛋白尿 (30 mg/gCr以上のアルブミン尿) の存在が重要

②GFR<60 mL/min/1.73 m<sup>2</sup>

①、②のいずれか、または両方が 3 カ月以上持続する

## 3. CKD の重症度分類

原疾患		蛋白尿区分		A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日)			正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
	尿アルブミン/Cr 比 (mg/gCr)			30 未満	30~299	300 以上
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎 不明 その他	尿蛋白定量 (g/日)			正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
	尿蛋白/Cr 比 (g/gCr)			0.15 未満	0.15~0.49	0.50 以上
GFR区分 (mL/分/ 1.73 m <sup>2</sup> )	G1	正常または 高値	≥90			
	G2	正常または 軽度低下	60~89			
	G3a	軽度~ 中等度低下	45~59			
	G3b	中等度~ 高度低下	30~44			
	G4	高度低下	15~29			
	G5	末期腎不全 (ESKD)	<15			

重症度は原疾患・GFR 区分・蛋白尿区分を合わせたステージにより評価する。CKD の重症度は死亡、末期腎不全、心血管死亡発症のリスクを ■ 緑のステージを基準に、■ 黄、■ オレンジ、■ 赤の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

日本腎臓学会編 「CKD 診療ガイド 2012」より抜粋